

身もとろける猛暑に、とろけるアイス。うおずみからのご褒美です

「氷食べに行こー」かつてそんなふうにかつてそんなふうと呼んでいた人も、夏に欠かせないおやつ。それが「アイスクリーム」です。牛乳や果汁・卵・砂糖水など子ゆえにそう呼ばれる

を凍結させた菓物のようですが、現在のアイスクリームの原型は、16世紀中頃、イタリアのフィレンツェでブオンタレンティがメディチ家のために創作したセミフレッド(半解凍状態のデザート)のズコット(丸いドーム型のケーキ)とされています。

ところで、日本人が初めてアイスクリームを食べたのは？歴史雑学です。それは幕末の1860年。日米修好通商条約の書類を交換するため徳川幕府が派遣した使節団一行が、訪問先の米国で振舞われたのが最初だといわれています。

前述のような卵や砂糖などのクラシカルな風味。昨年バニラ、イチゴ、抹茶下さい。ご希望でサーバーいっそう厳しさを増した猛暑の中、エアコンの効いた室内とはいえお元気な姿を見せてくれる皆様へ、うおずみからのささやかなご褒美です。ひと口ほお張る暇もなく溶けてゆき甘美な冷感を与えてくれる夏の恋人、アイスクリーム。その快感に虜になったあなたも、しばらくはお預け。また逢える日をお楽しみに…

納涼

涼

Good!

夏

Summer



厨房だより 猛暑でも夏バテ知らず。美味しいものを食べているから



うまい!

夏は食欲がどうも…とは言わせないのが、うおずみ厨房の腕の見せどころ。

7/26(金)のランチに登場したのはカジキカツ。それは、福島県・いわき海星高校の生徒がハワイ沖の航海実習で捕ったクロカワカジキを加工したことが始まりとされています。肉質が柔らかく、魚独特の臭みがないのが長く愛される理由です。ここでは、瀬戸内レモンの果汁を加えさっぱりとした味付けに仕立てました。

瀬戸内は温暖で台風の襲来が少なく、雨の少ない気候からレモンの栽培適地で、日本一の生産量を誇っています。このカジキとレモンが組めば、向かうところ偏食なし。猛暑でも食欲は健在です。



メニュー・カミングスーン

- 8/19 《お好み焼きの日》
- 8/21 《ご当地フェア・福井県》
ボルガライス
- 8/31 《散らし寿司の日》
そぼろ寿司
- 9/9 《重陽の節句メニュー》
栗ご飯ほか

その他、敬老の日スペシャルなどお楽しみに!

オリンピックの顔と顔



8時間の時差で、生中継をTV観戦すると朝起きるのがツライ! そんな悲鳴が2週間。遙けきうおずみからも選手団へエールを送りました。その効果か、メダルラッシュ! 序盤は日本が金メダル数で単独トップに立つこともありました。メダルメーターの数字を入居者様に入れ替えていただき、気分はパリジェンヌ(?)三波春夫も天から歌ってます。

うおずみ春夏秋冬インフォメーション

- 制度改定に伴い、8月からお部屋代が1日¥60上がります。同封の「入所料金改定のご案内」にご署名の上、事務所へご持参下さい。
- うおずみ祭 10/13(日)開催決定!

酷暑、猛暑はもうすぐ終わり残暑。うおずみ

- 《訪問理美容》 8/23(金)、9/20(金)、10/18(金)
- 《夏のおやつ、かき氷》 1・2丁目:8/7(水) 14:00~
デイサービス:8/20(火)~22(木) 14:00~
- 《LIVE! ギター・金時充様》 9/12(木) 14時



編集後記

インフルエンザに罹った時と同じくらいの気温の中、外を歩くと頭がフラフラ。オリンピック・イヤーは366日ありますが、今年夏は1日プラスされた気分です。怠け者の私は、プラス

された貴重な24時間が冬だとしたら、コタツの中で丸くなり、猛暑の夏は一日中ゴロゴロしてしまうかも。エイト・デイズ・ア・ウィークという曲で「週に8日分、君を愛せるんだ」と、ビートルズからパワフルに叱咤激励されます。パリ五輪で選手たちが躍動する姿を見て血が騒ぎ「よし、ロス五輪を目指すぞ!」と表へ出たら、またも暑さにやる気をそがれ…怠け者につけるクスリはないものでしょうかねえ。皆様も夏バテすることなく、夏の残りをお楽しみ下さい。

